

平成23年度 第2回 鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会 会議録

- ◇ 日 時：平成24年3月15日（木）10時30分～11時30分
- ◇ 場 所：鎌ヶ谷市総合福祉保健センター 4階 会議室
- ◇ 出席者：下記名簿のとおり

○鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会委員（敬称略）

号	会長等	氏名	役職等	出欠
1	会長	中井 愷雄	鎌ヶ谷市医師会顧問	出席
		堀江 直茂	鎌ヶ谷市医師会会長	欠席
		尾崎 隆	船橋歯科医師会副会長	欠席
2	副会長	藤木 哲郎	習志野健康福祉センター長	代理
3		福島 節子	船橋市栄養士会会長	出席
		小倉 一哲	鎌ヶ谷市料飲組合連合会会長	出席
		和田 洋子	鎌ヶ谷市食生活改善協議会会長	出席
		金子 利江子	鎌ヶ谷市保健推進員協議会会長	出席
4		望月 忠	鎌ヶ谷市こども課長	出席
		松岡 康太郎	鎌ヶ谷市学校教育課長	出席

○事務局

氏名	職名
福留 浩子	健康増進課長
鈴木 恵子	健康増進課補佐
生原 弘子	健康増進課副主幹
西山 珠樹	健康増進課副主幹
太田久美子	健康増進課主査
舟波 早苗	健康増進課主任保健師

◇ 会議の議題

「第二いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について

1. 会長・副会長選任
2. 会長挨拶
3. 委員自己紹介
4. 会議録署名人の選任 事務局一任により「小倉委員」「和田委員」となる。
鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会設置要綱第6条の規定により、会長が議長となり議事を処理する。

(会 長) それでは本日の議題は1件でございます。「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況についてですが事務局ご説明をお願いします。

(事務局) 資料は、「平成23年度第二次いきいきプラン・健康かまがや21の進捗状況について」をご覧ください。今回はじめての方もいらっしゃいますので「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」について、簡単にご紹介いたします。この計画は、平成14年度から平成22年度までの第一次計画に引き続き、平成23年度から平成32年度までを計画期間とする第二次の鎌ケ谷市健康増進計画です。計画の構成は、①栄養・食生活②身体活動・運動③休養・こころの健康づくり④歯と口の健康づくり⑤疾病予防の5つの領域と、「地域づくりを支える医療について」で構成されています。

それでは、はじめに1ページの①栄養・食生活をご覧ください。表の見方を説明します。見出しに左から「ライフステージ、めざす姿、行動目標1、行動目標2、行動目標を実現するための取り組み、こんな事業やこんな場面で取り組みます」がありますが、これが第二次計画で推進していく内容です。そして平成23年度のところが、今年度の進捗状況をあらわしたものです。

今年度の取り組みの状況については、計画どおり「全て取り組んだもの、ほとんど取り組んだもの、未実施のものが多かったもの」という段階で把握しました。未実施のものがあつたところは、今後の取り組みの方向性が書かれています。この表のひとつひとつの項目についての評価は、資料のとおりですのでご覧ください。まだ、計画開始から1年目ということもあり、未実施のものもありますが、段階を経て今後実施していきます。

今回は、それぞれの領域についての重点対策についてご紹介します。2ページをご覧ください。栄養・食生活では、食育の推進を重点対策としています。平成22年3月に策定された「鎌ケ谷市食育推進計画」に沿って食育の推進を図るため、鎌ケ谷市健康づくり推進協議会に「食育推進部会」を設置し、食育に関わるそれぞれの分野の代表者が連携を深めながら事業が進められるような体制を整えました。今年度は、全体で取り組んでゆく事業として「食育講演会、トマト料理レシピコンクール」を実施し、食育の推進に努めました。また、「食育のページ」として食育のホームページを立ち上げ、情報の更新にも努めました。さらに、領域ごとに行われてきた食育事業について集約し、情報の共有を図りました。また、健康増進課の実施する「早寝、早起き、朝ごはん食育講演会」については、3年目を迎え、全小中学校において、鎌ケ谷市教育委員会、学校現場の協力により、継続実施することができました。

次は3ページの「身体活動・運動」の重点対策をご覧ください。

「気軽に日常生活で運動をする環境づくりの推進」についてですが、ウォーキング講座を受けたことがない市民を対象にウォーキング講座を実施し、ウォーキングの基本を学ぶ場とし、運動習慣者の増加に向けて取り組みました。また、地区のウォーキング事業を実施し、参加者が安全に楽しく健康づくりができる場として活用できるように継続的に支援を行いました。さらに、地区の体操グループ（白梅の会・なのはな体操クラブ・健康づくりの会わかば・南部体操の会）の支援を行いました。40周年記念事業として、きらり鎌ヶ谷体操DVDを作成し、気軽にできる運動習慣を身につける機会となりました。

「きらり鎌ヶ谷体操の普及啓発」についてですが、活動マップを作成し、きらり鎌ヶ谷体操の普及状況の確認を行いました。東部学習センター・鎌ヶ谷コミュニティセンターで実施しているいきいきライフ教室、なしの木工房（障害者作業所）、西部小学校でのワクワクスクールやすぎな会等各地区において定期的に普及活動を実施し、さらにイベント等で実施し普及活動に努めました。

次は5ページの「休養・こころの健康づくり」の重点対策です。

「親子のふれあいを大切にする活動の推進」については、ブックスタート事業をはじめとして、新米ママの会、乳児健康相談・幼児健康診査や児童センターでの健康教育等様々な事業において、「親子のふれあい」が子どもの成長には大切なことを啓発しました。特に、早い時期から、「親子のふれあい」が大切であることを伝えるために4か月児健康相談の会場にてブックスタート事業を行い、具体的に親が気付き、学べるよう手遊びや、絵本の読み聞かせなど体験できる場面づくりも行いました。その後の、新米ママの会においても、同様に体験し、継続した働きかけを行うことができました。「親子のふれあい」を伝えるために、ブックスタートボランティアの養成・育成も行い、多くの親子へ啓発し活動の推進を図ることができました。

「自殺予防対策の推進」については、自殺予防対策として、自殺予防講演会「無縁社会から有縁社会への回帰」を実施し128名の参加がありました。また、自殺予防人材育成講習会を3回コースで実施し、民生委員児童委員、自治会、ふれあい員、老人クラブ、制度ボランティア等、地域で活動している59名の受講があり、今後も地域のキーパーソンとしてスキルアップ研修を重ねて育成していきます。さらに、啓発媒体の作成や全世帯に相談窓口一覧表を配布し、3月の強化月間には市役所と消防署に「気づいて つなげる いのちの絆」の懸垂幕を懸垂しました。

次は8ページの「歯と口の健康づくり」の重点対策です。

「永久歯のむし歯予防と歯周病予防の推進」については、むし歯予防の推進としてフッ化物洗口実施施設の拡大を行い、おおぞら保育園5歳児とまるやま保育園の4歳児を開始しました。これによってフッ化物洗口実施施設は市立保

育園4園、私立保育園3園、私立幼稚園8園、小学校1校となりました。また、モデル小学校についての効果を把握し、非実施校よりもむし歯が減少していることを確認しました。また、歯周病予防の推進として、運動講座や食生活改善推進員など成人対象の教育の機会をとらえ、歯周病と全身病(特に糖尿病)について普及啓発を行いました。

「口からはじめる「食育」の推進」については、主に子どもに関係する団体の協力を得て、「歯と口の健康づくり推進部会」を立ち上げ、これから新しく推進していく「嚙ミング30」の推進について協議を行いました。また、市民による歯と口の健康づくりを活性化させる目的で、「健口づくりボランティア養成」を行いました。今後ボランティア自身が活動の場を広げていけるよう支援を行っていきます。

次は11ページの「疾病予防」の重点対策です。

「生活習慣病予防の推進としてがん対策」について、胃がん、肺がん、大腸がんの3検診を1日で実施するセット検診を導入して4年経過し、受診率も徐々にではありますが向上してきました。反面、検診日程が限界にきており、検診キャパシティの確保が最大の課題です。子宮がん、乳がん検診については、女性特有のがん検診事業の実施により、受診率は確実に向上しています。子宮がん検診と視触診については市内実施医療機関数が少なく、また、マンモグラフィも読影件数が限界に近いため、上記同様検診キャパシティの確保が最大の課題です。

「生活習慣病予防の推進として特定健康診査・特定保健指導」については、生活習慣病予防の推進として、特定健康診査・特定保健指導の啓発を広報に掲載し、新鎌ヶ谷駅・実施医療機関へのポスター掲示、チラシの配布を行いました。また、40・50歳代の健診未受診者に対しては、再通知により受診を促すなど受診率の向上に努めました。特定保健指導の対象者で申し込みがなかった者へは電話による利用勧奨を行いました。さらに、メタボリックシンドローム予防教室では3回コースで医師、栄養士、運動指導士による指導を行い、食生活改善推進員によるメタボ劇団の劇による教育を加え、内容の充実を図りました。

「感染症予防の推進」については、定期予防接種を地道に接種勧奨を行うことにより、全ての予防接種においてある程度の接種率は維持していますが、集団接種から個別接種に切り替えた予防接種や、MR4期のように幼児期・学童期以降に接種する予防接種に関して、接種率が低迷する傾向が見られます。Hib、小児用肺炎球菌、HPVについては、国の子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業により、公費接種が実現されました。数年中には、この3疾病を含めた予防接種法の改正が予定されており、一類疾病が現在の8疾病(5ワクチン)から12疾病(9ワクチン)に、二類疾病が現在の1疾病(1ワクチン)から4疾病(4ワクチン)に増加する見込です。

続いて、5つの領域とは別の「地域づくりを支える医療について」読み上げます。平成23年4月26日に公示された千葉県保健医療計画により、千葉県全域において、病床数の不足が生じることになりました。東葛南部保健医療圏では、基準病床数11,133床に対して、平成23年5月10日現在の既存病床数が10,660床で473床の不足となりました。鎌ヶ谷市内では合わせて257床の増床計画が県に出され、24年3月に決定される予定です。しかし、このことは、増床予定の各病院に留まらず、地域における医師、看護師をはじめとするスタッフの確保が課題になります。また、循環型医療連携システムについては、鎌ヶ谷市内における千葉県共用地域医療連携パス登録機関病院は4件ですが、東葛南部保健医療圏の中では平成22年9月の登録では95件であったが、平成24年3月5日現在104件になり9件の増加がみられました。災害時における循環型医療連携システムでは、災害現場における行政の対応と救護班、医師会、消防機関との役割分担を明確にし、救護所で患者をトリアージした後、近隣の災害拠点病院や災害医療協力病院へ患者を搬送します。鎌ヶ谷市においても、平成23年3月11日の東日本大震災の経験から、鎌ヶ谷市防災計画に基づき、さらに見直す予定です。平成25年度からは、千葉県共用地域医療連携パスに精神疾患が加わり、5疾病になり医療資源の適正配置と医療費の適正化に向けて推進します。

当市において、鎌ヶ谷市保健・医療・福祉問題協議会で2年にわたって協議してきました自殺予防対策について各分野での取り組みと協力を確認し、報告書としてまとめました。特にかかりつけ医と精神科医との連携、救急搬送先での配慮と協力等地域の中での自殺予防対策が期待されるところです。

以上が「平成23年度第二いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況についての報告です。

次に、食育推進部会の報告を部会長の和田委員、お願いいたします。

(和田委員) 別紙1にありますように、第1回5月24日、第2回が7月6日にありました。第1回目・第2回目は報告済みです。第2回より3名増え17名で、第3回は10月19日、第4回は2月1日に開催しました。内容については、事務局のほうで、よろしく申し上げます。

(事務局) 食育推進部会の会議の内容について報告いたします。第1回、第2回については、健康づくり推進協議会において報告いたしました。

その後、第3回会議として10月15日開催されました。内容は平成24年度、食育推進事業計画についてです。平成22年度・23年度については、食育推進計画策定及び、それに関連した食育推進事業ということで、緊急履

用促進事業で補助金を頂いてきたために、健康増進課が中心になって事業をすすめてきました。平成24年度については、食育推進部会の委員全員で計画を練りながら、推進していく方向で実施しました。そのため、第3回からはグループワークで参加者全員が意見を言えるような形にし、平成24年度の食育推進事業計画をたてました。全体で取り組んでいくイベントとして、「食育講演会、レシピコンテスト」で決まりました。それ以外は分野ごとの実績を集約していくことを続けていくことになりました。

第4回の内容については、A3の3枚目からの資料になります。平成23年度に各分野でどのような食育の事業が行われたかをまとめています。各現場の委員から実績をあげてもらいました。2月1日の食育推進部会にむけてまとめたので、1月～3月については、見込みの数になっています。分野については、学校給食分野、保育園、地域、生産者、食育関係事業者、消費者関係、行政にわけられております。内容については、同じようなものはまとめています。対象は、一般市民、小学生、中学生、全体で分けています。基本目標・行動目標は、「鎌ヶ谷市食育推進計画」の中の基本目標・行動目標となっています。今後、実績と合わせて事業の評価をしていきます。第4回の中では、第3回でたてた平成24年度の事業を細かく検討していくことになりました。

平成24年度の食育推進部会事業計画案をご覧ください。全体で取り組むものとして、食育講演会が平成24年11月頃の休日となっています。会場の関係で、第1候補が11月25日（日）総合福祉保健センター6階会議室になっています。第2候補が中央公民館の視聴覚ホールにて日程調整し行う予定です。講師については、食育講演会を行う各委員の方から候補をあげていただいている途中のため、今後決定して、日程、会場を決めていく予定です。合わせて、コンテスト、川柳、標語の表彰式を考えていましたが、川柳や標語はどうだろうかということで変更があり、表彰式は行うが、川柳と標語ではなく「食育4コママンガ」の募集をしてくということで決まりました。コンテストについては、継続的に実施していきたいとのことで平成23年度のトマト料理コンテストに引き続き、我が家の自慢B級グルメコンテストを開催していこうということになりました。その表彰式を食育講演会の会場で行う予定です。4コママンガが集まったら、レシピ集と合わせて載せていきたいと考えております。

その他で平成24年度、食育推進部会の開催予定とのことで、資料の最後の表に載せてあります。7月に第1回会議、8月に食育担当者の研修会の開催、11月に第2回会議、2月に第3回会議を開催する予定です。

(事務局) それでは、歯と口の健康づくり推進部会について、部会長の尾崎委員に替わって事務局よりご報告いたします。

資料の別添2をご覧ください。設置目的、部会メンバー、実施状況の第一回までは、前回ご報告いたしましたので、第二回からご報告いたします。

第二回は、平成23年10月27日に行われ、16人のメンバーが参加いたしました。内容は、今後推進が必要な「噛ミング30」について検討しました。まず「よく噛むこと」を大人になって習慣化するためには、子どもの頃からの取り組みが必要という話が出て、小学生までの取り組みをグループ討議形式で検討しました。

第三回は、平成24年2月9日に行われ、14人のメンバーが参加いたしました。内容は、噛ミング30について前回のテーマをより深めるため、就学前と学童の取り組みについて、グループ討議を行いました。最後によく噛む環境づくりのひとつとして、来年度より「毎月8日は噛む日」にしてはどうかとの提案がされました。平成24年度も引き続き、歯と口の健康づくり推進部会では、「噛ミング30」の推進をテーマに、現場での実践例を交えながら検討していくことになりました。以上、説明を終わりにします。

(会長) 報告にありました進捗状況について、御指名いたしますので、ご意見、質問等よろしくお願ひします。

(金子委員) 保健推進員の立場では、いきいきプランの計画の中では、③休養、こころの健康づくりが主な活動内容となっています。親が子育てを楽しむという項目に主な活動が集中しています。私たちの活動は2～3ヵ月の赤ちゃんのお宅に、地区の担当保健師と情報交換しながら、訪問することと市役所での健診のお手伝いです。

(小倉委員) 平成24年度食育推進部会事業計画(案)のなかで、我が家の自慢B級グルメコンテストがありますが、地域でB級グルメが流行っているので、良いことだと思います。栄養士にアドバイスなどをもらいながら、やっていくと良いのではないかと思います。

(福島委員) 栄養士の立場からすると、鎌ヶ谷市では母子保健と食育とが立体的に取り組んでいるので、先々安心です。小学生で、噛めない子が多いので噛む指導も行っています。「毎月8日は噛む日」が食育でも生かされ、地産地消とも併せてすすめていただきたいので、よろしくお願ひします。

(松岡委員) 「自分らしく生きる力を育てる」で、自分を大切にすることと話をすると、以前、自殺予防対策の会議で、自尊感情を育むということと話をしました。小学生、中学生でのアンケートで、他国より自尊感情が低く、学校現場では、自分に自信を持てるような力をどのようにつけていくかが問われています。学校教育課でも来年度の指針として、自己指導能力

の育成、自分を大切にできるような環境づくりを考えています。新学習指導要領も「生きる力」が特に言われています。先が見えない時代の中で、子ども達が力強く生きていくことは、自尊感情、生きる力が関わっていると思うので学校現場以外でもご協力お願いします。

また、食育では、子ども達の健康面で重視されていて、協力していただいています。学校教育課としても給食で関わっているので、今後連携していければと考えています。ご協力よろしくお願いします。

(望月委員) 健康な歯をつくろうということで、むし歯予防対策として、フッ化物洗口を各保育園、幼稚園で取り組んでいます。市立の保育園で5歳児の1人あたりのむし歯本数が、平成22年度が2.66本だったのが、平成23年度1.60本と1本近く減少しました。フッ化物洗口などの予防対策の効果があることから、今後も継続は必要と考えているので、よろしくをお願いします。

(保健所) 健康づくり推進計画は、国だと「健康日本21」、県だと「健康ちば21」になります。鎌ヶ谷市だと「いきいきプラン・健康かまがや21」となります。それぞれ地域の特性に合わせた計画を立てていこうという国の指針です。22年度に中間見直しをし、先日、最終評価の報告の発表があった。変わらない・悪化しているのが4割あった。中身は主なものとして、自殺者の減少、多量に飲酒する人の減少、メタボ該当予備軍の減少があります。保健所でも、自殺予防の啓発・普及を行っていますが、うつ病・自助グループに今後も力を入れていきたいと思います。鎌ヶ谷市の健康増進計画をみると、自殺予防など先取りしてあり、丁寧でした。今後も推進していってけると期待しています。

(会長) では、今後、このプランに沿って推進してもらってよろしいですか。

(委員) よろしいです。

(会長) 了承されたということで、よろしくお願いします。

(事務局) 貴重なご意見をいただき、24年度も取り組んでまいりたいと思います。ありがとうございました。

その他として鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会設置要綱をご覧ください。「第7条 協議会は必要と認めるときは、部会を置くことができる。」ということに基づき、部会を設置させていただき、進行させていただいています。

今後の予定として、次回は平成24年7月26日(木)を予定していま

す。以上です。よろしくお願いいたします。

(会 長) それでは、「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」が市民の間に定着するよう委員の皆さんが積極的に参画するということで、よろしくお願いいたします。

(事務局) 本日の予定議題はすべて終わりました。これを持ちまして、第2回健康づくり推進協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

閉 会

◇ 会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成24年3月28日

署名人

小倉 一哲

署名人

和田 洋子